

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2394000067		
法人名	医療法人 誠淳会		
事業所名	グループホーム 新城作手の家 1号館		
所在地	愛知県新城市作手田原字道上17-1		
自己評価作成日	平成30年9月30日	評価結果市町村受理日	平成30年11月27日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaijokensaku.mhlw.go.jp/22/index.php?action_kouhou_detail_2018_022_kami=true&JigyosyoCd=2394000067-00&PrefCd=22&VersionCd=022
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社第三者評価機構 愛知評価調査室		
所在地	愛知県名古屋市長瀬区本願寺町2丁目74番地		
訪問調査日	平成30年10月14日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

自然環境が豊かなところなので、季節を感じた散歩や、慣れ親しんだ畑作業をしたり、落ち着いた生活が送れるように心がけています。日々の生活の中では、洗濯物干し、洗濯物たたみ、食器拭き、掃除など出来ることをやって頂きやりがいや達成感をもって楽しく過ごして頂けることを目標にしています。 また、地域とのつながりとして、可能な限り、行事や活動に参加させて頂いています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

鹿、ハクビシン、ムササビ等野生動物と遭遇することも珍しくない自然豊かな地域には、長い歴史が築いた思いやりの精神が充ちています。利用者の家宅から「今年も実ったよ」と電話が入ると、皆でいそいそ梅採りに出るのは恒例となり、戻ってくると各自が楊枝でヘタを取り、事業所の一大イベント『梅干漬け・梅ジュース』作りが始まります。台風では励ましもカセットコンロが地域から届き、電気が最初に通った地域の職員が自宅で炊いたご飯をおにぎりにして持ち込み、全力で利用者の笑顔を護ったことは本年のトピックスです。最近「高齢者の集まるカフェをやりたいんだよ」という人も現れ、さらに地域との拡がりに期待が膨らんでいます。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	環境(人的、物的)は最大の介護用品 その人らしく生き生きとした生活をしていただく。という理念を事務所に掲げ、施設、職員全ての力を合わせて満足して頂ける介護を心掛けています。	毎月発行の『新城作手の家 通信』にも記載し、家族に届ける前に職員が読み上げ確認をおこない、理念共有に工夫を凝らしています。事業所の畑にも茄子、胡瓜等が実り、「プチトマトはキッチンに届くことなく通りすがりに利用者の口に入る」というエピソードからも安寧が覗えます。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	日常的には近隣での散歩を通じ交流をしています。また地域の行事への参加や、祭礼やコミュニティへも協力するなど、地元可愛される施設を目指します。	利用者の体調も考慮して月に1回程度はボランティアを迎え入れ、また小学校の共育(ともい)のイベントや学習発表会(総練習)、寺カフェといった地域行事には積極的に出ることを試みています。利用者同士で将棋を指して、ユニット間で近所づきあいしている例もあります。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	認知症介護についての相談やアドバイスや、他のサービスなどの情報を紹介、提供してきましたこれからも継続していきます		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実践、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	地元の方々や、家族代表の参加があり、情報の交換や意見を聞かせて頂き、ここでの活動をj知って頂くことで、理解を深めています。	運営推進会議は行政、地域、家族、職員が集い、隔月開催が叶っています。同法人他事業所の管理者と交換参加をおこない、DVDやイベント紹介、事例検討等具体的な実践情報を掴む場として効果を発揮しています。	自治会長が勤務者なことから欠席が続いているため、老人会や婦人部、自主防へのアプローチを進めていくことを期待します。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	市の担当者の方には、相談やアドバイスを頂き事業者会議・情報交換会に参加し介護事業の変遷に耳を傾けています。運営推進会議の報告も必ず行っています。	運営推進会議の議事録を窓口に届けることを旨とし、介護保険課には受入相談なども含み月1回は出向き、福祉課とも連携しています。地域包括支援センターからもらった『いいじゃん新城キラキラ体操』のDVDは所内レクリエーションに活かしています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施設を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	社内研修を定期的実施、ケアについてのカンファレンスをし身体拘束をしない介護に取り組んでいます。日中施設はせず見守りをしつつ、自由に行動してもらっています。	帰宅願望には本人が納得するまで散策に付き合っており、入口は日中オープンです。本件は法人の年間研修にも位置付けられ、身体的拘束等の適正化のための指針を掲げるとともに身体的拘束適正化検討委員会が四半期に1度開催され、学びを深めています。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	社内教育(研修、朝礼)など、内容を理解し職員全員が内容を把握して、安心できる介護を行っています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修の機会を利用し、資料を参考にして勉強の機会を設け、随時対応していきます。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居時、契約に基づきキーパーソン(家族)に説明、及び質疑対応し、納得して頂いた上で契約しています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族来訪時や電話など常時意見を聞き取れるように声掛けさせていただいています。玄関には意見箱を設置しています。利用者の意見も聞き取れるよう情報の共有に努めています。	家族には「何かあったら言っていただけたら…」と必ず挨拶をしており、家族からも「(少し伸びたみたいなので)髭、そってください」との小さな気づきが率直に発信され、職員の反省材料となっています。遠方だったりで面会の少ない家族は事業所通信の写真や報告で安心を得ています。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員会議を月一回開催し、意見要望を聞き対応を検討し、皆が周知できるようにしています	「あそこの〇〇さんにパンフレットを～」 「△△で□□をやるらしいよ」といった地域行事や空室対応に係る情報が職員から常に挙がっていて、地域交流や外出支援の支えとなっているとともに、内部の改善提案も多様で『作手の人ならではの』人財に恵まれた運営が見られます。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	勤務状況を把握、評価し、給与、賞与に反映しています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	能力に応じて、本部、外部研修に参加し認知症、介護技術の向上に努めています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	東三河広域連合の事業者会議や、サービス提供票交換会に出席しています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居当時、面談、契約時に家族、本人にゆとり説明し、面談の中から、情報を得てサービス展開しています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居説明、面談、契約時に本人に関する家族からの情報をフェイスシートに記載して、サービスに展開しています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居説明、面談、契約時に本人、家族両方からの情報を基にサービスを展開しています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	皆で話し合い、協力しながら、本人が出来る事は行っていただき、生活が活性化するような関係を構築します。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会やその月の通信で生活状況をお知らせし、家族様からの意見等を参考にして、サービス提供に活かしています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	知人、友人の面会が自由にできています。地域内での散歩、診療所の受診や地域の行事に参加するなど、折に触れ、顔なじみの方との交流もあります。	作手診療所の待合室では、地域の人が地域の人の安否確認をするような関係が入居後も続き、顔の見える温かな交流が満ちています。90歳で自家用車を運転して毎月訪れる友人や、本人が営んでいた理美容店のお客様の来所もあります。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず、利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	日常生活の中で、共同作業(洗濯干し、たたみ、掃除、畑作業など)やレクリエーションなどができるように支援しています。利用者様同士の会話の仲介をしています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居された家族の方には、経過の状況把握や相談、支援を心掛けています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常生活では、各職員が各入居者様より、ニーズを汲み上げ、可能な限り支援しています。	「草取りしたい」等、これやりたい、あれしたいは職員が観て、聴いて、感じての関わりから実現させることが出来ています。昼食は12時からと予め決まっていますが、「今日は部屋で休んでいたい」となれば、食事の終盤にやってきて違和感なく受け入れられている様子も視認しました。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	フェイスシートを基に、入居者様との会話や家族からの情報をから、これまでの暮らし方、環境の把握に努めています。新たな事実が分かり次第記録しています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	生活のリズムを大切に、日常生活では心身の状態を見ながら、残存能力に応じて支援していきます。日々の様子は介護記録に残し職員で共有しています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	モニタリング、家族の意向、職員カンファレンスを実施して、介護計画を作成しています。	各ユニットに計画作成担当者を其々置き、介護計画の作成からモニタリング(モニタリング実践記録表)まで一貫しています。日々の実践は職員が「できた、できない」の記録を残すとともに、必要に応じて計画作成担当者と情報交換がおこなわれています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護記録及びカンファレンスの内容に基好き、介護計画を作成しています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	協力病院以外の受診にはご家族様に依頼していますが、都合のつかない時は、対応しています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	自治会の防災訓練には、参加できるようにしています。散歩の際、地元住民との会話を支援し、お祭り、行事に参加しています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	提携病院との連携を図り、支援しています。個人のかかりつけ病院には、ご家族様をお願いしています。	協力医である作手診療所には職員の介助で月1回定期受診をしていますが、協力医では精神系の薬を出せないため、他医院を利用する人が1名います。専門医の通院介助は家族にお願いし、医療情報についてはいずれの場合も介護詳細記録に残しています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	提携病院への受診の付き添いや、体調管理について、連携して情報交換をしています。緊急時にも可能な限りの対応をしています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	医療機関、家族との連絡を密にし、情報共有に努めています。水分補給、排便状況、日常のバイタルなど看護、介護と連携して情報交換を行っています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	早い段階から家族、医師と繰り返し話し合いを行い、方針に添って支援していきます。	医療連携体制加算についての同意書の中に『看取りに関する指針』を組入れ、契約時に家族と合意形成していますが、本人の心身状態の変化の都度話し合っています。本人の症状に呼応する医師や看護師の協力度合いにも因りますが、職員は看取りへの取組み意欲を持っています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	マニュアルに基づき対応しています。マニュアルは事務所に掲示してあります。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	地震、火災訓練を年2回行っています。本年は3月と9月に行いました。	緊急時の対応については職員によって差があることが確認されたため、ロールプレイング訓練をおこなうとともに、法定訓練の年2回実施についても本年度は完了しています。台風で停電が4日続いたことで課題が明瞭となっていて、今後着手の予定です。	

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	プライバシーの保護、個人情報の守秘義務は守るように徹底しています。職員同士で注意し、その都度改善しています。社内研修などから日々学んでいます。	職員間の会話についてNGワードが出てしまったときも、「普段から気をつけないと本人の前ですすよ」と管理者から注意喚起して、「～ちゃん」づけ等尊厳を傷つける言葉については是正されています。親しさの距離は職員差があるように見受けられますが、総じて優しく接しています。	リスクマネジメントとして、個人情報保護に係る合意書(写真掲示等を含む)を交わしておく、良いと思います。
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	各職員が入居者様の希望を聞き取り、可能な限りのしえんをしています。自己決定ができる様に選択して頂いています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	運営ルールに基づき、可能な限り、その人らしい暮らしの支援を行っています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	本人の意思を尊重し、職員と共に、出来る範囲の身だしなみを整えて頂いています。ご家族の方に了承を頂き、出張理容を行っています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	嗜好調査を実施し、楽しめる食事の時間を提供しています。その日の体調を考慮して、下膳片づけなど、職員と共に行っています。	業者配達の献立材料で、職員が手作りしています。お腹の調子が悪い人がいるユニットではカレーライスや胃に優しいシチューに替えたりと、臨機応変に状況に対応できていることも視認しました。玉ねぎの皮むきを頼んだり、畑のさつま芋でスイートポテトを作って楽しむ日もあります。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	配食センターより、材料と栄養バランスのとれた献立が来るため、個人のバランスを考慮しながら、提供しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、一人一人に声掛けし、口腔ケアを行っています。一人で出来ない方には、職員がお手伝いをしケアしています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	個々の身体状況や、排泄パターンに合わせて自尊心を傷つけないようにして介助しています。尿意の無い方には、機会に応じて早めの、トイレ誘導をしています。	排泄チェック表を付けパターンを掴んでおり、そのため職員が支援し易く成っていて、消耗品の使用量が減った例もあります。トイレに全く行く気がない利用者には、「ついでだから～」「あそこまで～」と軽めに声をかけて、失禁を防ぐよう努めています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	配食サービスで、福祉メニューを提供しています。適度な運動や散歩を取り入れ、水分摂取を心掛け、必要に応じて、便秘薬の処方医師と相談しながら、服用しています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	毎日の入浴も可能ですが、個浴でゆっくりと入浴できるように、1日おきにしています。個々の希望を聴き対応しています。	週3日の入浴を目安として、拒否の人にも時間を替えて声かけするなどアプローチを繰り返し、また足拭きマットは一人毎に交換して清潔を保っています。3面から脚を入れることができる安心設計の湯船には、利用者の自宅の庭に実る柚子が浮かぶ日もあります。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	入居者様のリズムに合わせて、休息、安眠出来るように、快適な空間に気をつけています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	主治医の指示に従い、薬の仕分け、服薬支援は毎日行っています。状態に変化が見られた時は主治医に相談し、指示に従い、受診しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	畑仕事、カラオケなど入居前からの趣味を続けて頂いたり、コーヒーで一休みされたり、日中は外気浴など、外に出て、自由にして頂いています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	可能な限り、散歩や、外気浴を実施しています。公用車を使い、買い物、ドライブ、地域の行事に参加しています。	遠距離散歩では耕作中の農家の皆さんと、「今年のできはどうか」「新米食べたいね」と会話をもち、「洗車行く？」といったミニドライブにも誘い、買い物支援もおこなうほか、初詣や和食屋さんでの外食もあります。	小さな外出を重ねることができていますが、年間行事として1つでも予め企画されたものがあると、なお良いと思います。

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	小遣いは家族理解のもと、施設で預かっています。受診費や、買い物、外食費用など必要に応じ支払っています。自身で管理出来る方は、職員が確認しながら自身で管理しています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご本人の要請があれば、可能な限り支援しています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関、食堂、居室には季節感を感じられるようにし、玄関には花を飾ったり、季節の塗り絵等をしてもらい、壁や部屋に飾っています。	「鏡がイヤ」という人のために布カバーを掛けていたり、レクリエーション材をプラスチックケースで整理しており、玄関にはススキの穂が揺れて、諸所心遣いが見られます。一般家庭の倍はある掘りごたつは畳敷きの一画に配され、見るからに暖かそうで、実際利用者に大人気です。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	フロア内のソファ、食堂テーブル、玄関内ベンチ、屋外ベンチ、を置き自由に過ごせるようにしています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時、本人が持参した物や、写真は居室に置くようにしています。家電の持ち込みは自由ですが、高価な物、冷蔵庫などは除いています。	職員の手編みで伸ばした照明の紐が下がり、窓枠には森林風景が収まっていて、思いやりや自然が沁みる気持ちのよい空間です。「ベッドの角が危ない」として全室カバーを取り付けたり、本人の発意で室内の快適さが高まっている居室もあります。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	個々の身体状況を考慮して安心、安全、安楽を基本に自立した工夫をしています。		

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2394000067		
法人名	医療法人 誠淳会		
事業所名	グループホーム 新城作手の家 2号館		
所在地	愛知県新城市作手田原字道上17-1		
自己評価作成日	平成30年9月30日	評価結果市町村受理日	平成30年11月27日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaijokensaku.mhlw.go.jp/22/index.php?action_kouhou_detail_2018_022_kami=true&JigyosyoCd=2394000067-00&PrefCd=22&VersionCd=022
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社第三者評価機構 愛知評価調査室		
所在地	愛知県名古屋市長瀬区本願寺町2丁目74番地		
訪問調査日	平成30年10月14日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

自然環境が豊かなところなので、季節を感じた散歩や、慣れ親しんだ畑作業をしたり、落ち着いた生活が送れるように心がけています。日々の生活の中では、洗濯物干し、洗濯物たたみ、食器拭き、掃除など出来ることをやって頂きやりがいや達成感をもって楽しく過ごして頂けることを目標にしています。 また、地域とのつながりとして、可能な限り、行事や活動に参加させて頂いています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

鹿、ハクビシン、ムササビ等野生動物と遭遇することも珍しくない自然豊かな地域には、長い歴史が築いた思いやりの精神が充ちています。利用者の家宅から「今年も実ったよ」と電話が入ると、皆でいそいそ梅採りに出るのは恒例となり、戻ってくると各自が楊枝でヘタを取り、事業所の一大イベント『梅干漬け・梅ジュース』作りが始まります。台風では励ましもカセットコンロが地域から届き、電気が最初に通った地域の職員が自宅で炊いたご飯をおにぎりにして持ち込み、全力で利用者の笑顔を護ったことは本年のトピックスです。最近「高齢者の集まるカフェをやりたいんだよ」という人も現れ、さらに地域との拡がりに期待が膨らんでいます。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	環境(人的、物的)は最大の介護用品 その人らしく生き生きとした生活をしていただく。という理念を事務所に掲げ、施設、職員全ての力を合わせて満足して頂ける介護を心掛けています。		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	日常的には近隣での散歩を通じ交流をしています。また地域の行事への参加や、祭礼やコミュニティへも協力するなど、地元へ愛される施設を目指します。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	認知症介護についての相談やアドバイスや、他のサービスなどの情報を紹介、提供してきましたこれからも継続していきます		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	地元の方々や、家族代表の参加があり、情報の交換や意見を聞かせて頂き、ここでの活動を知って頂くことで、理解を深めています。		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市の担当者の方には、相談やアドバイスを頂き事業者会議・情報交換会に参加し介護事業の変遷に耳を傾けています。運営推進会議の報告も必ず行っています。		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	社内研修を定期的実施、ケアについてのカンファレンスをし身体拘束をしない介護に取り組んでいます。日中施錠はせず見守りをして、自由に行動してもらっています。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	社内教育(研修、朝礼)など、内容を理解し職員全員が内容を把握して、安心できる介護を行っています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修の機会を利用し、資料を参考にして勉強の機会を設け、随時対応していきます。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居時、契約に基づきキーパーソン(家族)に説明、及び質疑対応し、納得して頂いた上で契約しています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族来訪時や電話など常時意見を聞き取れるように声掛けさせていただいています。玄関には意見箱を設置しています。利用者の意見も聞き取れるよう情報の共有に努めています。		
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員会議を月一回開催し、意見要望を聞き対応を検討し、皆が周知できるようにしています		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	勤務状況を把握、評価し、給与、賞与に反映しています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	能力に応じて、本部、外部研修に参加し認知症、介護技術の向上に努めています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	東三河広域連合の事業者会議や、サービス提供票交換会に出席しています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居当時、面談、契約時に家族、本人にゆっくり説明し、面談の中から、情報を得てサービス展開しています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居説明、面談、契約時に本人に関する家族からの情報をフェイスシートに記載して、サービスに展開しています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居説明、面談、契約時に本人、家族両方からの情報を基にサービスを展開しています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	皆で話し合い、協力しながら、本人が出来る事は行っただき、生活が活性化するような関係を構築します。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会やその月の通信で生活状況をお知らせし、家族様からの意見等を参考にして、サービス提供に活かしています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	知人、友人の面会が自由に出来ています。地域内での散歩、診療所の受診、や地域の行事に参加するなど、折に触れ、顔なじみの方との交流もあります。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず、利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	日常生活の中で、共同作業(洗濯干し、たたみ、掃除、畑作業など)やレクリエーションなどができるように支援しています。利用者様同士の会話の仲介をしています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居された家族の方には、経過の状況把握や相談、支援を心掛けています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常生活では、各職員が各入居者様より、ニーズを汲み上げ、可能な限り支援しています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	フェイスシートを基に、入居者様との会話や家族からの情報をから、これまでの暮らし方、環境の把握に努めています。新たな事実が分かり次第記録しています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	生活のリズムを大切にし、日常生活では心身の状態を見ながら、残存能力に応じて支援していきます。日々の様子は介護記録に残し職員で共有しています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	モニタリング、家族の意向、職員カンファレンスを実施して、介護計画を作成しています。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護記録及びカンファレンスの内容に基好き、介護計画を作成しています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	協力病院以外の受診にはご家族様に依頼していますが、都合のつかない時は、対応しています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	自治会の防災訓練には、参加できるようにしています。散歩の際、地元住民との会話を支援し、お祭り、行事に参加しています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	提携病院との連携を図り、支援しています。個人のかかりつけ病院には、ご家族様にお願いしています。		
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	提携病院への受診の付き添いや、体調管理について、連携して情報交換をしています。緊急時にも可能な限りの対応をしています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	医療機関、家族との連絡を密にし、情報共有に努めています。水分補給、排便状況、日常のバイタルなど看護、介護と連携して情報交換を行っています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	早い段階から家族、医師と繰り返し話し合いを行い、方針添って支援していきます。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	マニュアルに基づき対応しています。マニュアルは事務所に掲示してあります。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	地震、火災訓練を年2回行っています。本年は3月と9月に行いました。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	プライバシーの保護、個人情報の守秘義務は守るように徹底しています。職員同士で注意し、その都度改善しています。社内研修などから日々学んでいます。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	各職員が入居者様の希望を聞き取り、可能な限りのしえんをしています。自己決定ができる様に選択して頂いています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	運営ルールに基づき、可能な限り、その人らしい暮らしの支援を行っています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	本人の意思を尊重し、職員と共に、出来る範囲の身だしなみを整えて頂いています。ご家族の方に了承を頂き、出張理容を行っています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	嗜好調査を実施し、楽しめる食事の時間を提供しています。その日の体調を考慮して、下膳片づけなど、職員と共に行っています。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	配食センターより、材料と栄養バランスのとれた献立が来るため、個人のバランスを考慮しながら、提供しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、一人一人に声掛けし、口腔ケアを行っています。一人で出来ない方には、職員がお手伝いをしケアしています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	個々の身体状況や、排泄パターンに合わせて自尊心を傷つけないようにして介助しています。尿意の無い方には、機会に応じて早めの、トイレ誘導をしています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	配食サービスで、福祉メニューを提供しています。適度な運動や散歩を取り入れ、水分摂取を心掛け、必要に応じて、便秘薬の処方医師と相談しながら、服用しています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	毎日の入浴も可能ですが、個浴でゆっくりと入浴できるように、1日おきにしています。個々の希望を聴き対応しています。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	入居者様のリズムに合わせて、休息、安眠出来るように、快適な空間に気をつけています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	主治医の指示に従い、薬の仕分け、服薬支援は毎日行っています。状態に変化が見られた時は主治医に相談し、指示に従い、受診しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	畑仕事、カラオケなど入居前からの趣味を続けて頂いたり、コーヒーで一休みされたり、日中は外気浴など、外に出て、自由にして頂いています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	可能な限り、散歩や、外気浴を実施しています。公用車を使い、買い物、ドライブ、地域の行事に参加しています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	小遣いは家族理解のもと、施設で預かっています。受診費や、買い物、外食費用など必要に応じ支払っています。自身で管理出来る方は、職員が確認しながら自身で管理しています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご本人の要請があれば、可能な限り支援しています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関、食堂、居室には季節感を感じられるようにし、玄関には花を飾ったり、季節の塗り絵等をしてもらい、壁や部屋に飾っています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	フロア内のソファ、食堂テーブル、玄関内ベンチ、屋外ベンチ、を置き自由に過ごせるようにしています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時、本人が持参した物や、写真は居室に置くようにしています。家電の持ち込みは自由ですが、高価な物、冷蔵庫などは除いています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	個々の身体状況を考慮して安心、安全、安楽を基本に自立した工夫をしています。		